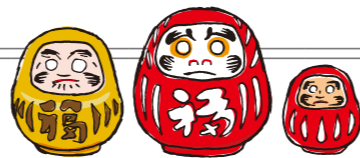


多摩のくらし～歳時記

新しい年を迎える神棚に、七転び八起きの縁起にあやかりと起き上がり小法師のだるまの玩具が言われ始めたのは、さかのぼること室町時代で、中国から不倒翁という起き上がり玩具の伝来に由来すると言われています。だるまのモデルは達磨大師（面壁九年の修行を積んだインドの僧で、中国禅宗の祖で528年に没す）で、悟りを開いたときには手足が萎えていたと言われるほどの大変な修行であったそうです。だるまはそれを模した人形で、開運、豊作、大漁、繁盛の縁起物として、江戸時代中期以降に流行したと言われています。だるまの産地は中部・関東以北が特に盛んで、毎年各

～だるま市～



地で歳末から新年に市が立つそうです。神奈川県でも川崎大師はじめ、各地に市が立ちますが、特に寒川神社では交通祈願が多く年末年始の参拝者が多いようです。だるま市では願掛け用に10センチから1メートル大のだるまが、例年人気が高いそうです。神棚がない家でも、小さな棚などをしつらえて毎日の生活や健康などのお守りに飾られます。そして、願の叶ったときにお礼参りをして目を入れたり、次は一回り大きいものにしたりと、新年の祝い参りの慶事となるようです。また、だるまというすぐ頭に浮かぶのは選挙の必勝祈願で、事務所の大きなだるまが印象的です。（川口キン）

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2016年 (平成28年) 12月

54号

多摩区の明日に向かって 第2回 生田浄水場跡地

上下水道局の施設再構築と生田浄水場の跡地利用

多摩区は、川崎市全体の水道のために重要な区です。川崎市では地形の高低差を利用した自然流下による配水が行われており、主要な水道施設は多摩区に多くあります。そしてそれらは、市全体の人口増加率の低下や産業構造の変化などによって、また施設の老朽化や耐震、自然環境などを考慮して、機能の集約化を行っています。水道事業につきましては、潮見台、長沢、生田の市の運営する3つの浄水場を長沢浄水場に集約しています。潮見台浄水場はすでに平成23年度に廃止されましたが、生田浄水場は工業用水を除き、昨年度に廃止されました。



配水池の斜面にある階段 (写真：藤田道夫)

その生田浄水場跡地は、ふれあい広場、多目的広場、スポーツ広場となり市民に開放されるようになります。従来生田浄水場が取り入れていた多摩地区の地下水は、今後は災害用井戸水などとして活用することになります。なお、川崎市の水道は、相模川水系を水源とする長沢浄水場のほか、相模川のほか酒匂川も水源とする神奈川県内広域水道企業団（若しくは企業団）の西長沢浄水場からのものもあります。 [文：児井]



生田浄水場用地の利用計画
川崎市上下水道局
パンフレットより

このシリーズでは、現在多摩区内で進行中、または進行予定のプロジェクトを随時取り上げて行く予定です。

たま今昔 区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

その18 長沢商店街



昭和40年代の西長沢信号所付近 (長沢自治会創立60周年記念誌より) 現在の様子 (平成28年11月3日撮影)

長沢地区は1968(昭和43)年に生田駅からのバスが開通しましたが、当時の多摩区内は、鉄道や幹線道路から少し外れただけで、どこも写真のような風景でした。その頃から団地や住宅が建ち始め、住民が増えるとともに1969(昭和44)年には県立生田高校が、また1975(昭和50)年には県立百合丘高校が開校し、活気のある街になりました。今では百合丘や新百合丘に行くバスも頻繁に走る便利な街になっています。地元の有志による街を活性化させようとする自助努力もあって、商店街にも賑わいが見られます。 [文：児井]

編集後記

平成28年もあと数日、来年も引き続き、この緑多く、日々変化する多摩区のあれこれを楽しんでいただけるよう、ご紹介に努めて参りたいと思っています。お役に立ちますように！ (藤田)

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp
ホームページ <http://tamaku-machikyo.com/>



多摩の風景



菅仙谷仙和會歳の神 (どんど焼き)



手ゆ玉をあぶって食べれば1年健康!

一年間の無病息災・五穀豊穡を願う催事 菅仙谷の歳の神(どんど焼き)

お正月の松飾りや注連縄、お札を一箇所に積み、焼き上げて一年間の無病息災・五穀豊穡を願う「どんど焼き」は、古くから小正月(1月15日)に各地で行われてきた民間伝承行事ですが、少子化や環境問題、場所の確保の難しさ、後継者不足などで年々減少しつつあるようです。

菅仙谷では、仙和會(会長 熟方猛氏)が主催し、昭和64年に、この伝統行事を再開、立ち上げ、地元の方たちと一体になって「菅仙谷仙和會歳の神(どんど焼き)」を実施されています。地元で切り出した青竹を使って田んぼに櫓(やぐら)を組んで祠(ほくら)を作り、中にお札やお正月飾りを納め「歳の神」に無病息災を祈って焼き上げるのだそうです。子ども会OBが「まゆ玉」を作り、婦人部がお汁粉を作って地元の人たちに振る舞っているそうで、「まゆ玉」を火にあぶって食べると一年間健康でいられるとも言われ、地域ぐるみで守られている新年の行事となっています。

+ 活動 菅仙谷の有志「仙和會」



八雲神社の祭礼時のみなさん

菅仙谷地区で地域の親睦を目的に、昭和60年4月に子ども会OBと地元の有志一同がボランティアの仙和會を立ち上げ「歳の神(どんど焼き)」「八雲神社の祭礼」に神輿を作って参加、子ども会の盆踊りの櫓(やぐら)作り、菅町会の運動会に参加するなど、子ども会OBや地元の人も参加し、年々活動が盛んになっています。

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

[まち協ホームページ]
<http://tamaku-machikyo.com/>



エコポイントカードが「スマートライフスタイル大賞」優秀賞に！

記事 山下

多摩エコスタイルプロジェクトが区役所通り登栄会商店街振興組合と登戸東通り商店会と共に取り組んでいる、「エコポイントカード」が「スマートライフスタイル大賞」の優秀賞を受賞！11月17日(木)、「CC 川崎エコ会議シンポジウム」において表彰されました。商店街や地域の皆さまのご協力の賜物です。これをチャンスにして、商店と区民と一緒に買物によるCO2の削減を行うエコポイントカードの取り組みやエコ活動を、さらに広げていきたいと思えます。まだ使ったことのない方も、ぜひ参加してください。

スマートライフスタイル大賞は、「市民や事業者のCO2削減に貢献する優れた取り組みやノウハウを表彰し、発信し広げていくことで地球温暖化対策の推進を図る」ものです。今回はカリタス小学校の「作ろう！泊まろう！ゲルゲルゲル（捨てられてしまう羊毛でモンゴル遊牧民の移動式住居ゲルを作る取り組み）」が大賞、日向山うるわし会の「自然との共生・環境教育」が同じく優秀賞と、3つの多摩区の団体が受賞しました。多摩区のエコ活動躍進です！

表彰式に出席しました！



プロジェクト



地域の子育て 応援しませんか

記事 古川

ふれあい子育てサポートセンター・宙(そら)では、川崎市からの委託を受けて、保育園や幼稚園への送迎や自宅での一時預かりなど、子育てのお手伝いをしてくださる会員を募集しています。会員登録の希望者を対象に、年4回、2日間の研修を実施しています。

関心のある方は、気軽にお問い合わせください。

[直近の研修日程]

1日目：平成29年1月24日(火)

2日目：平成29年2月2日(木)

[詳細] 電話：044-944-8866

(平日9時～17時)



たまむすびの活動

記事 本多

10月15日(土)、生田中学校文化体験教室に参加し、A、B班合わせて32人の中学生とごはんピザとポトフを作りました。23日(日)には、すごろくチームは長沢方面にある盛源寺や春秋苑など2時間ほど散策しました。思いがけない発見が多々あり、いいヒントになりそうです。更に29日(土)には、登戸新川町会との共催で、食を通じた地域づくり(ボレボレたま食堂)を開きました。スタッフ併せて100人を超える参加者がありました。



ボレボレたま食堂はみんなに大好評

プロジェクト



マグネット多摩

記事 岡本

マグネット多摩が掲載するチラシにも四季の模様が写し出されます。例えば、夏は多摩川での遊びや催し物、秋は生田緑地を使ったイベントなどチラシを眺めているだけで季節感を感じることができます。

そうそう冬と言えば、いよいよ「クリスマス」や「年越し」のメインイベントのチラシがたくさん並びます。みなさま、マグネット多摩のチラシで季節感を感じてみて下さい。



「マグネット多摩」チラシギャラリーのURL

<http://tamaku-machikyo.com/magnet-tama/gallery/>

プロジェクト

秋晴れのもと 第39回多摩区民祭

記事 藤田

10月15日(土)、生田緑地は中央広場を中心に、久しぶりの快晴のもと朝早くから大勢の区民が集まり、賑やかな1日でした。多摩区文化協会の多摩川音頭を手始めに、ステージでは開会式のあと、市民団体による音楽、ダンス、演武などが20余も続き、周りを囲む80余りのテントでは防災をはじめとした啓発活動、福祉団体を含む物品販売、飲食提供が行われました。藤枝市、南房総市、狛江市、南砺市のご参加も得て楽しい時間を過ごされた来場者は9万人とされています。



見事な快晴の下で開催

たま学びのフェア

記事 小澤

来春、3月11日(土)、12日(日)の二日間、多摩市民館内で開催されます。このイベントは市民館三大まつりの一つで、市民館を利用しているサークルや区内で活動する生涯学習グループの一年間の成果を発表・紹介するものです。観る・聴く・参加(体験)を通して、世代間交流や学びの道しるべの一つとして楽しむことができます。



たま学びのフェア展示の様子

キャラクター「ビビ」



たまサロン&出張たまサロンを実施しました

報告

10月15(土)、午前9時30分より生田緑地内で開催された「第39回多摩区民祭」にまち協として初出展しました。まち協の活動内容を紹介するとともに、「出張たまサロン」と称して、普段身の回りで感じている「関心ごと」「困っていること」「良くしたいこと」などについて課題を6項目挙げ、約490名の来場者に3項目までシールを貼っていただきました。貼られた数をもっとも多かったのは、「安全安心便利なまちづくり、次いで「高齢者・障害者がすみやすい」まちづくり、「豊かな自然や文化資源などの魅力を活かした」まちづくりという結果になりました。

そして、11月24日(木)、午後7時より多摩区役所会議室にて、まち協メンバー・区民15名が集まり、「豊かな自然や文化資源などの魅力を活かした」まちづくり、「高齢者・障害者がすみやすい」まちづくりの2つのテーマについて、2グループに分かれて意見やアイデアを出し合いました。今後、いただいたご意見・アイデアを参考にまち協の課題として取り組んでまいります。



出張たまサロンで気になることに投票



たまサロンではグループに分かれ議論

まち協のイベント情報(2月)

まちづくり活動発表会「まちカツ！」

区内の活発な市民活動を知り、参加者同士が交流できる年1回のイベント「まちカツ！」(まちづくり活動発表会)を今年度も開催します。まちづくりに興味がある方はもちろん、区内の活動団体を知りたい方や活動されている方もぜひご参加ください。

【日時】平成29年2月11日(土・祝)13時～16時半

【場所】多摩区役所11階会議室

【内容】

講演会(講師：呉哲煥氏)、多摩区まちづくり協議会の活動発表会、ポスターセッション、交流会など

【申込み】不要(参加費無料)

まち協のイベント情報(12月～3月)



多摩★まちCafé
「地域デビューカフェ」

3/23(木)13:30～@多摩区役所11階会議室



多摩★まち大学
「あなたのチカラを地域で活かそう」

- 第2回：1/27(金)13:30～
- 第3回：2/24(金)10:00～
- 第4回：3/13(月)13:30～

地域包括
ケアシステム

いずれも@多摩区役所11階会議室(※第1回は実施済)

まちカツ!ポスター展

2/8(水)～15(水)@区役所1階アトリウム



たまむすび 日本体育大学 野井真吾さん講演会
「最近の子どもの身体のおかしさと遊び」

3/9(木)10:00～@11階会議室

※イベントの内容は変更になる場合があります。